

<基本情報>

所在地：富山県射水市
構成経営体数：22
(組織21、個人1)

<農場概要>

栽培面積：えだまめ
37ha
(令和元年実績)



<活動の経過>

◆全農家の合意を得るための取組

- ・全農家を訪問して意見をくみ上げる。
- ・全農家に担当者を配置し、地域営農指導員、普及指導員とともに個別相談に応じて改善活動をフォロー。

◆全体のレベルを上げるための取組

- ・優良農場現地研修会で整理整頓のイメージをつかむ。
- ・農家同士の情報交換で得意分野を引き出す。
- ・共通の不適合には講習会を企画（応急手当講習会等）。

◆団体認証取得への取組

- ・農協内にGAP指導員を3名育成し、指導体制を整備。
- ・事務局会議を月に1回開催し、関係機関で書類整備、農場改善など役割分担し、活動の効率化を図った。
- ・全国農業協同組合中央会の事業を活用し、知識と経験が豊富なアドバイザーから団体認証のノウハウを習得。

<GAP認証取得のきっかけ>

「富山ブラック」の愛称で主力の黒大豆のブランド化を進めてきた中で、産地強化によるさらなる販路拡大、産地の品質管理、農家の安全性確保につなげていくため。



平成30(2018)年9月 JGAP認証取得

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆農家間の情報交換による改善レベルの向上

- ・改善事項や工夫点などを共有することで改善レベルが上がった（団体活動ならではのメリット）。

◆農家の意識改革

- ・農家が自らの農場をリスク分析し対策を作成するなど、自発的な改善活動が進んだ。

◆農家の生産意欲の向上

- ・GAP点検やほ場巡回で全農家をフォローする体制が整ったことで部会の一体感が生まれ、生産意欲の向上につながったことにより、令和元年の作付面積は37haと増加した。

